

重要なまちづくりの課題の現状評価シート

重要なまちづくりの課題(めざすべき姿)	教員は資質が確保され意欲がある	
施策名	教師力の向上を図る	No.34

年度	平成28年度
責任部長	教育文化部長
主担当課長	学校教育課長
関係課	—

1. まちづくり指標の現状

まちづくり指標	指標のめざす方向	現状値						実績値		目標値
		H18	H20	H21	H22	H23	H24	5年後	10年後	
		H24	H25	H26	H27	H28	H29			
先生を信頼できると思う子どもの割合(%)	①小学校	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	②中学校	89.1	88.0	88.8	82.2	89.3			90.0	
先生を信頼できると思う保護者の割合(%)		—	—	—	—	—	—	—	—	—
		73.4	82.0	75.0	76.8	75.9			75.0	
教職に対してやりがいがあると思う教員の割合(%)		64.2	69.9	70.9	72.8	75.2	72.6		71.6	
		72.6	75.4	74.6	74.5	77.2			77.4	
		93.3	94.8	95.5	96.8	97.3	97.7		95.1	
		97.7	96.8	97.8	97.6	96.5			96.3	

2. 外的要因(世論、自然環境、社会動向、民間・NPO活動等)

教師の力量、言動、生き方は、直接、児童生徒に反映し、人格形成に大きな影響を与えている。専門職としての自覚と教育的愛情を持ち、教育内容や指導の研究と修養に努め、実践的な指導力を身につけた教師が求められている。

3. めざすべき姿に対する現状評価(まちづくり指標や外的要因等からの評価)

現状評価	A	「先生を信頼できると思う子どもの割合」(小学校)の数値は上昇傾向にあり、「先生を信頼できる保護者の割合」とともに、目標値に迫る値となっている。他の指標については、いずれも目標値に達しており、全体としては目指すべき姿に向かって推移している。
	改善傾向	

評価がB・Cの場合

4. 事務事業群に対する評価(行政活動の評価)

長期成果(事業群①)	長期成果(事業群②)	長期成果(事業群③)	長期成果(事業群④)
評価観点	1. 長期成果は重要なまちづくりの課題(めざすべき姿)の一手手前の状態となっており、モレなくダブリなく設定されているか。 2. 各事業群の事務事業は、長期成果を達成するのに必要十分であるか。		
評価			
次年度の改善計画			

市民からみた計画の進捗状況 □A ■B ▨C

- ・A判定(改善傾向) 38%
- ・B判定(停滞) 55%
- ・C判定(悪化傾向) 7%

